変更理由書

3・5・16号 新那加町線

(都) 3・5・16号新那加町線(以下「本路線」という)は、各務原市那加本町を起点とし、同市新那加町を終点とする延長140m、計画幅員12mで那加地区の通勤、通学、買物等日常生活活動を確保する生活基盤の役割を担う道路として昭和62年に都市計画決定している。

本路線の周辺一帯は、各務原市都市計画マスタープランにおいて、文化教育施設・行政施設・公園等が集積する地区であり、これらの既存施設を活用しつつ、商業、医療、福祉等の都市機能の集積を高め、若年世代から高齢者まで様々な世代が集まるにぎわい・交流の拠点の形成を図る西の都市拠点に位置付けられている。また、平成27年に新那加駅周辺地区バリアフリー基本構想を策定し都市再生整備計画に基づき、道路のバリアフリー化や新那加駅の入口からホームまでの経路確保を目的にエレベーターを設置したところである。さらに、令和4年には各務原市立地適正化計画を公表し、各務原市らしい公共交通を軸とした集約型都市構造への転換を目指すこととしている。

これを受け新那加駅南口に路線バス・ふれあいバス・タクシー等の交通機関の円滑な乗り換えを行うため、乗降場や駐輪場の整備を行うことで交通結節点機能が強化され、通勤通学等の駅利用者の利便性向上が期待できることになる。

こうしたことから新那加駅前広場を都市計画道路3・5・16新那加町線に追加するものである。また、新たに車線数を2車線に定めるものである。